

2022 年度

事業報告書

自：2022 年 4 月 1 日

至：2023 年 3 月 31 日

一般財団法人 熱・電気エネルギー技術財団

I 概況

2022年4月1日から2023年3月31日までの当財団の状況について

今期は、昨年度同様新型コロナウイルス感染症対応のため、技術研究会やミノル記念講演会も大幅に縮小しての開催となり、研究助成選考委員会についてもリモート会議との併用となりました。研究助成事業においては、昨年度に引き続き、通常募集の他に特別募集を行いました。

まず、研究助成事業の第30回研究助成では、前述の通り通常募集と特別募集を行いました。応募総数は、通常募集が35件、特別募集が8件、合わせて43件となりました。厳正な審査の結果、通常募集10件、特別募集2件を選出し、研究助成金(総額15,900千円)を交付しました。

次にセミナー事業では、3年ぶりに研究助成対象者講演会を開催し、3名の助成対象者から講演をいただきました。また前述のとおり、ミノル記念講演会も規模を縮小の上、開催しました。

調査研究事業では、「水素利活用に関わる世界動向調査」及び「カーボンニュートラル動向調査」の2本について、委託調査を実施しました。

最後に、会報誌TEET Review031号では、第28回ミノル記念講演会「風力発電の現状と将来展望」(講師:足利大学理事 名誉教授 牛山泉氏)をまとめ掲載しました。また研究助成選考委員会での総評を選考委員長の河本邦人氏に執筆していただき、事業報告とともに掲載し発行しました。

今期の決算報告では、基本財産運用益(140,000円)・特定資産運用益(991,000円)、賛助会員個人会員による賛助金35,000円を合わせて、合計1,167,303円の運用益を計上し、総費用として67,037,185円(公益目的支出額62,853,075円、管理費4,184,110円、均等割税金70,000円)を計上した結果、期末の正味財産額は527,391,329円となりました。

2023年度においても、一般財団として、より一層社会に貢献できるよう、鋭意各事業に取り組む所存です。

引き続きご指導、ご鞭撻、ご協力のほどをお願い申し上げます。

I 総務に関する事項

1. 理事会

(1) 第 33 回通常理事会

2022 年 5 月 25 日、(株)テクノバ会議室において開催され次の事項が承認された。

- ① 2021 年度事業報告について承認を求める件
- ② 2021 年度決算報告について承認を求める件
- ③ 2022 年 5 月 25 日開催の第 33 回評議員会議案について承認を求める件
- ④ その他:財団の在り方に伴う研究助成について

(2) 第 34 回通常理事会

2022 年 12 月 9 日、(株)テクノバ会議室において開催され次の事項が承認された。

- ① 2022 年度事業中間報告について承認を求める件
- ② 2022 年 11 月 25 日開催の選考委員会選出による第 30 回研究助成テーマ対象者について承認を求める件
- ③ 新水素プロジェクトに関する調査研究について承認を求める件
- ④ 2022 年 12 月 9 日開催の第 34 回評議員会議案について承認を求める件

(3) 第 35 回通常理事会

2023 年 3 月 23 日、(株)テクノバ会議室において開催され次の事項が承認された。

- ① 2023 年度事業計画について承認を求める件
- ② 2023 年度予算案について承認を求める件
- ③ 2023 年 3 月 24 日開催の第 35 回評議員会議案について承認を求める件

2. 評議員会

(1) 第 33 回評議員会

2022 年 5 月 25 日、(株)テクノバ会議室において開催され次の事項が承認された。

- ① 2021 年度事業報告について承認を求める件
- ② 2021 年度決算報告について承認を求める件
- ③ その他:財団の在り方に伴う研究助成について

(2) 第 34 回評議員会

2022 年 5 月 25 日、(株)テクノバ会議室において開催され次の事項が承認された。

- ① 2022 年度事業中間報告について承認を求める件
- ② 2022 年 11 月 25 日開催の選考委員会選出による第 30 回研究助成テーマ対象者について承認を求める件

③ 新水素プロジェクトに関する調査研究について承認を求める件

(3) 第 35 回評議員会

2023 年 3 月 24 日、(株)テクノバ会議室において開催され次の事項が承認された。

- ① 2023 年度事業計画について承認を求める件
- ② 2023 年度予算案について承認を求める件

3. その他

(1) 6/21 に開催された選考委員会での検討事項を議事録とともに理事・評議員に配布し、意見を求めた。

(2) 2022 年 6 月 21 日、内閣府宛公益目的支出計画実施報告書等を提出した。

II 事業の実施状況

1. 調査及び研究(定款第3条1号関係):

I「カーボンニュートラル動向調査」

契約の名称	契約日	契約期間	契約先・金額
カーボンニュートラル動向調査	2022年5月1日	自:2022年5月1日 至:2023年3月31日	(株)テクノバ 5,000,000円 (消費税別)

□ 要旨:①カーボンプライシング動向調査

・各省庁での CP 政策議論から、炭素税、クレジット制度、排出量取引制度などの政策動向を把握し報告した。

②ネガティブエミッション技術の調査

・カーボンオフセットのためのネガティブエミッション技術の各種実証例において、規模、コスト、導入の制約および事業として成立させるビジネスモデルを調査した。

II「水素利活用に関わる世界動向調査」

契約の名称	契約日	契約期間	契約先・金額
水素利活用に関わる世界動向調査	2022年5月1日	自:2022年5月1日 至:2023年3月31日	(株)テクノバ 5,000,000円 (消費税別)

□ 要旨:『e-Fuel を含めた、生成～活用(含インフラ)に至る技術を絡めた水素に纏わる世界動向』をトピックスとしてタイムリーに提供した。

具体的な内容は、水素利活用に関わる世界動向、水素生成から活用に至る技術などである。

2. 研究会、セミナー等の開催(定款第3条3号関係)

理事長の判断により、本年度開催予定であった3回の技術研究会は、新型コロナウイルスの感染症拡大を考慮して、1回のみで開催となった。

(1) 第 77 回技術研究会(2023 年 3 月 10 日)

- テーマ: 水素利活用に関わる世界動向調査
- 講師: 株式会社テクノバ
統括主査 丸田 昭輝 氏
- 開催日: 2023 年 3 月 10 日 (金)
- 会場: ビジョンセンター日比谷 301 号室 (WEB 併用)
- 出席者: 委員長 太田 健一郎
委員 小山 昇(WEB) 笠木 治郎太(WEB) 柏木 孝夫
國松 敬二 河本 邦仁 谷口 富裕
吉野 淳二

オブザーバー:中島 護 (賛助会員) 庄司 紀夫 (賛助会員)
桜井 章喜 (テクノバ)(WEB)

- 要旨:
今年度、当財団が委託した調査研究事業の総括として、資料に基づき、世界の水素戦略・ロードマップに始まり、米国の政策、欧州の政策、ドイツの政策、韓国の政策、水素エンジン等詳細に説明され、最後にまとめとして日本の将来の課題などが説明され、大変興味深い講演となった。

(2) 研究助成対象者講演会

- 2020 年度第 27 回及び 2021 年度第 28 回の助成対象者 3 名による講演
- 開催日: 2022 年 8 月 26 日
- 出席者: 選考委員会、技術研究会、理事、評議員、賛助会員など 23 名
- 会場: ビジョンセンター日比谷 301 号室
- プログラム

1.	講演 I	「凝縮系核反応エンジンに関する基礎・応用研究の現状」 早稲田大学 理工学術院 教授 内藤 健 氏 第 27 回及び第 28 回助成対象者
2.	講演 II	「高効率アンモニア分解およびアンモニア・水素混焼による発電システム」 東京大学 生産技術研究所 准教授 アズィズ ムハンマド 氏 第 28 回助成対象者

3.	講演Ⅲ	「トンネル構造を有した金属間化合物系熱電材料の開拓と、研究活動の近況」 東北大学 多元物質科学研究所 教授 山田 高広 氏 第 27 回助成対象者
----	-----	--

(3) 第 28 回ミノル記念講演会

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、理事長の判断により規模を大幅に縮小し開催することとなった。

テーマ:「風力発電の現状と将来展望」

開催日:2022 年 12 月 9 日

会 場:帝国ホテル 本館「菊の間」

講演者:足利大学理事 名誉教授 牛山 泉 氏

出席者:約 40 名(招待)

要旨:

世界と日本における風力発電の現状から日本における洋上風力の可能性、風力発電に関わる産業の発展や雇用の創出など多岐に渡り説明された。

3. 研究助成(定款第 3 条 4 号関係)

(1) 研究助成選考委員会

2022 年 6 月 21 日、ビジネスエアポート日比谷 A 会議室において、WEB 会議を併用して行われ、以下の事項について検討、確認された。

1. 今後の助成金の在り方について

○この財団の当初の目的である常温核融合研究に特化したプロジェクトを各大学で連携して行うため、早急に発足チームを設けプロジェクトの計画を策定する。発足チームのメンバーは、笠木委員、太田委員、國松委員、岸田委員とする。

○理事会・評議員会に報告し、プロジェクト発足の了承を得なければならない。

○今年度の研究助成については例年通りの募集とする。但し、特別募集は、300 万円/2～3 名に改める。

2. 助成対象者講演会について

○河本委員長案に基づき講師の選定を行った。

講師は前述のプログラムの通りである。

(2) 第30回研究助成の実施(第30回研究助成選考委員会)

□ 公募期間:2022年8月22日～2022年10月24日

□ 募集テーマ内容:Ⅰ通常募集、Ⅱ特別募集とも同様

① 新水素エネルギー技術(常温核融合、凝集系核科学及びそれらから派生した技術)

② 熱電変換素子技術

③ 熱エネルギー貯蔵技術

④ 熱・電気エネルギーに関するシステム技術

□ 応募件数:43件(通常募集35件、特別募集8件)

□ 研究期間:2022年12月～2023年11月

□ 2022年度第30回研究助成選考委員会の開催(11月25日)

委員長:河本 邦仁 名古屋産業科学研究所 上席研究員

委員:太田 健一郎 横浜国立大学グリーン水素研究センター 名誉教授

小山 昇 エンネット株式会社 取締役社長

笠木治郎太 東北大学 電子光理学研究センター 名誉教授

亀井 淳史 前株式会社テクノバ 顧問

岸田 昌浩 九州大学大学院 教授

國松 敬二 元 山梨大学客員教授

吉野 淳二 東京工業大学名誉教授

□ 助成対象者:Ⅰ通常募集10名(助成金額990万円)の選出

Ⅱ特別募集2名(助成金額600万円)の選出

□ プロジェクト提案のフィージビリティ会議報告

九州大学大学院教授岸田昌浩氏より2度の開催について報告を行った。

(3) 第1回フィージビリティ会議

6月21日開催の選考委員会での検討に基づき、新水素プロジェクトに関する調査研究について第1回フィージビリティ会議を行った。

□ 開催日:2022年9月8日(木)

□ 場所:ビジネスエアポート日比谷 A 会議室

□ 出席者:太田 健一郎 笠木 治郎太 岸田 昌浩 國松 敬二

○計画を策定した岸田昌浩委員より全体説明を受け、討議の結果、各プロジェクト担当者からヒアリングを行うため、第2回フィージビリティ会議を開催することとなった。

(4) 第2回フィージビリティ会議

開催日:2022年10月31日(月)

場所:ビジョンセンター日比谷 303号室

出席者:太田 健一郎 笠木 治郎太 岸田 昌浩
 國松 敬二 河本 邦仁(委員長)

○岸田昌浩委員及び笠木治郎太委員より改めて全体説明を受け、その後、東北グループ(岩村康弘氏、伊藤岳彦氏)、神戸グループ(金崎真聡氏、長谷川正彦氏)、九州グループ(岸田昌浩氏)、岩手グループ(成田晋也氏)、早稲田グループ(内藤健氏、小林知嵩氏)よりヒアリングを行った。

4. 普及・啓発(定款第3条5号関係)

セミナー・研究会などの講演集・講演録を作製・配布する。

No	名称	発行日	部数
①	助成対象者講演会講演録	2023年3月予定	30
②	財団会報誌第31号	2023年3月予定	400